



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン

名古屋名南ロータリークラブ

■承認 / 1991年3月8日 ■例会日 / 火曜日・PM6:30 ■例会場 / 名古屋マリオットアソシアホテル
 ■会長 / 鈴木 清詞 ■幹事 / 坂本 晃 ■会報・雑誌・広報委員長 / 江松 央統
 ■事務局 / 〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル2202号
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054

第1164回

2016年1月19日(火) 晴 第24回

～職業奉仕月間(1/27を含む1週間 追悼記念週間)～

斉唱 君が代、奉仕の理想
 出席 会員56名(出席率算入人数48名)
 出席39名 出席率81.25%
 前々回補填率94.34%(12月22日分)

1月の誕生日

1日 榊原 和美さん 2日 牧野 好弘さん
 3日 佐々木元彦さん 14日 田中 一雄さん
 18日 日下智重子さん 22日 三島多恵子さん
 26日 末永 祐敬さん

配偶者誕生日

2日 加藤 尚子さん 2日 牧野恵美子さん
 4日 細井 篤子さん 27日 大平 剛さん

1月の結婚記念日

17日 加藤 宜之さん 18日 中村 勝さん

会長あいさつ

会長 鈴木 清詞さん

年初から非常に世界情勢、経済も揺れておりました、株が17,000円を切る、1ドルは117円、1パレル30ドルを切るという様な状況です。

今日は、国際通貨について話してみようと思います。国際通貨は元々、ドルとユーロと円の3大通貨となっていますが、昨年11月30日にIMFが中国の元もSDRという国際取引に使われるお金の認めていこうといった様な話があり、非常に話題になりました。

前々から疑問に思っている事がありました。中国というのは、当座貸越しや、銀行にお金を積んでおかないと、同額の投資が出来ないといった、非常に規制の多い国です。利益も国外へ持ち出せない国でありながら、中国人が世界中で不動産の爆買いをしており、どうやってお金を持ち出しているのか疑問に思っていましたら、この間、日経新聞に地下銀行というのが載っていました。

香港からすぐの所に深圳という街があります。こ



こに地下銀行街があり、すごい量の元が海外に持ち出されているという事です。11月の1ヶ月間で不正が130万件出ていて、その中で13件が10億元を超えるものもあったという事です。

この地下銀行がどうなっているかと言うと、不正の貿易取引証書を作ったり、リュックサックに入れて現金を持ち出すという方法で、元を持ち出しているという事です。

中国当局は、非常な勢いで元が流出しているという事で、元高を維持しようと、昨年11月までの1年半の間に5,550万ドルのドルを使いました。日本円に直すと、67兆円を使って、一生懸命元高を演出したそうです。その結果、一時22円までいきましたが、今は17円と非常に元が安くなってきていますが、まだまだこれを買って支えようという事です。ちょっと賢いIT産業の人たちは、元を全てドルに替えるという事を、去年の11月からやっており、1ヶ月間に1,000億ドル相当の元が流出しているという事なので、当局がいくら一生懸命元を支えようとしても、恐らく、元は安くなるだろうと言われております。昔みたいに、1元が12円位になるのではないかと、中国人が一番自国の通貨を信用していない、そんな中で国際通貨になってどうするのかと思っております。

この中国の景気が要因となり、今非常に株安となり、これからどうなる事かと思っておりますが、国際通貨に元は、実際は少し難しいのではないかと思います。

幹事報告

幹事 坂本 晃さん

1. 3月の理事会の日にちが変更になりました。3月15日5時半からとなります。まだマリオットホテルの部屋は決まっておられません。
2. 来週の4RC合同例会は、1月27日(水)、マリオットホテル16階ボール・ルームで行いますので、よろしくお願い致します。

ニコボックス

◆ 木村さん卓話楽しみにしています。

田中 一雄さん 伊藤 圭一さん 中西 芳子さん
 安藤 修さん 木下 福郎さん 加藤 英敏さん
 鈴木 清詞さん 三島多恵子さん 水野 俊男さん
 武藤 正行さん 長尾 浅吉さん 中村 勝さん
 犬飼りさ枝さん 牧野 好弘さん 川辺 清次さん

久米 伸治さん 森田敏二三さん 川瀬 悟さん
朝比美和子さん 三浦 隆さん 有川 英敏さん
新原 尚さん 坂本 晃さん 大平 明子さん
佐々木 暢さん 猪村 美之さん 鈴井 一博さん
入谷 直行さん

◆本日卓話します。取り留めのないお話を致します。御拝聴宜しくお願いします。

木村 猛さん

◆昨年初打、久しぶりにハーフ45きりました。嬉しい。

出田真太郎さん

本日合計 33,000円 累計 529,000円

委員会報告

■ロータリー財団委員会 委員長 朝比美和子さん
昨年末に、寄付金のお願いをさせていただきました。大半の方に、ご協力いただきまして、ありがとうございました。お忘れになっている方がいらっしゃいましたら、1月でも2月でも構いませんので、どうぞ事務局の方に申し出ていただけます様、よろしくお願い致します。

本日は、財団寄付の認証について、表彰品が届きましたので、皆さまにお渡ししたいと思います。

ロータリー財団寄付認証者

・ベネファクター 鈴木 清詞さん
・第2回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
入谷 直行さん 木下 福郎さん
久米 伸治さん 加藤 宜之さん
中村 勝さん 中西 芳子さん
山本 郁矢さん
・第1回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
犬飼りさ枝さん 武藤 正行さん
吉木 邦男さん



■ローターアクト委員会 委員長 木下 福郎さん
3月8日(火)、名古屋熱田ローターアクトクラブとの合同例会を行います。本年度は、午後7時スタートで、ラシック8階の麻布ダノイというイタリア料理店で行います。ローターアクトからも沢山出席してくださると思いますので、是非、皆さまのご参加をお願い致します。

同好会報告

■ゴルフ部会 幹事 安藤 修さん
3月24日の親睦ゴルフの案内ですが、会員の森田さんのご厚意により、大変お値打ちにやらせていただけるという事です。これはゴルフ部会だけで無く、皆さまとの親睦を深めたいという事で、全会員の方へ案内させていただきます。よろしくお願い致します。

時事卓話

■建築偽装について 木村 猛さん

私の職業分類は、建築構造設計という事になっております。

例えば皆さま方が、自分の工場や事務所を造る時には、知り合いの設計事務所や建設会社の方に相談して、建物を建てるのが一般的だと思います。

その時に、建設会社及び設計事務所の一級建築士の建築家が、皆さまとご相談して、皆さまの計画してみえる建物の、用途、規模、構造等を図面に書き、打ち合わせを重ねて煮詰めた図面になっていきます。

僕たちの学生の頃は、建築も一つの芸術作品だという事で、色々な建物のデザインを勉強しました。ですから、一級建築士のデザイン力により、その建物の機能も外観も10人居れば10通りに違ってきます。どういう建物になるかは、その設計士の実力、技能、デザイン力になると思います。

例えば、今、東京で新国立競技場の設計コンペがありまして、建築家の隈研吾さん、伊東豊雄さんの2つのグループで競い合いました。そういう建築家、デザイナーは本当に格好良く、僕たちもそういう夢を持ちながら学校に入ったものでした。建築家は、映画やドラマでよく出てくる格好良い職業の一つだと思います。

しかし、私たちの構造の設計というのは、大変地味で、ミロのビーナスに例えれば、綺麗な顔の内側の頭蓋骨、綺麗な胸の内側の肋骨の設計です。肋骨がどれ位の太さで何本いるか、8頭身のミロのビーナスを支える背骨がどれ位の厚みがあるか、というような設計なので、決して格好良い仕事ではありません。人知れずコツコツとやっていた仕事だったのですが、10年位前に、姉齒一級建築士が新聞・テレビを賑わせました。私の仕事はまさにその姉齒一級建築士と同じなのです。彼は、構造設計偽装という事で、故意に計算書を改ざんしておりました。

また、今、横浜の旭化成建材の杭のデータ偽装で、我々業界も激震で、本当に今までの杭は大丈夫かと言われております。

現実に私も、その横浜の1~2年前の設計施工だと



思うのですが、たまたまその横浜の現場主任が関わった仕事があったのです。12月22日に、ゼネコン及び総合設計事務所から、突然電話が掛かってきました。横浜の同じ現場監督が施工したものが3棟あり、その内の1棟の26本にデータのコピーを持ってきておりました。26本のデータを偽装した近くに3本のボーリングをやりました。そこから杭の耐力を再計算して、その結果25日に国交相から許可をもらったという事で、ほっとしました。

杭の設計をするというのは、地盤調査、ボーリング調査が一番一般的ですが、そのボーリング調査をやって杭を設計するのですが、建物の規模によって、ボーリングを何箇所やるか。ずっと昔は、建物の中心辺りに1本やって、これで基礎の設計をやったというような事もあったと思いますが、今は最低でも、調弦方向の建物の、端と端でボーリングをやって、そのデータを見ると、地盤そのものや支持層が違うものが多く、実際同じという事はあり得ないので、その2本のボーリングのデータで、耐力の弱い方で建物の設計をするというのが一般的です。

今回の横浜の例でいきますと、4棟位あって、その内の1棟に沈下が生じたという事になっています。少なくとも各建物毎の 端にボーリングをやっていけば、規模にもよりますが、建物の杭の内ランダムに試験杭をやって、設計監理者、ゼネコンの監督、杭の責任者も立ち会って、所定の杭の所で試験杭をやれば、見抜けたのではないかと思います。ましてや、試験杭そのものもデータ改ざんしたのか、少し横浜の件は腑に落ちない感じです。

ただ、一つの敷地内で、同じ地盤条件という事はほとんどあり得ないので、杭の設計をする時は、結構僕たちも悩む所です。そういう事を見越して杭を長くして設計しようと思うのですが、これが業者さんによっては、もう少し短くしても耐力が変わらないのではという計算書を出してきて、結局短くなってしまう場合もあります。

先ほど言った、姉齒事件の時も結構大変でした。ホテルやマンションのディベロッパーが、自分の建てた建物の構造計算書を監理会社にみんなチェックさせました。私も偽装はしませんが、人間ですから、間違い勘違いはあるはずで、絶対無いとは言い切れません。

そんな事で、構造設計は非常に地位が弱くなったのですが、姉齒一級建築士のお陰で、建築基準法や、建築手法を変えまして、今までの一級建築士の他に、2つの一級建築士、構造一級建築士、設備一級建築士を作って、そういう面で行くとある意味名を残したのではないかと考えております。

世の中、偽装だらけで、建築以外でも、血液製剤まで20年間騙していたし、食品でいけば偽装だらけで、産地偽装、賞味消費期限偽装、日本人の企業モラルはどうなっているのかと考えております。

以上で私の卓話を終わらせていただきます。

第1166回例会(2月2日)のご案内

時事卓話